

ナース危機一髪！

日常にある「危機」への対処の仕方を考える

現場において、ナースは常に危機にさらされています。

と言うと、大抵の場合は、医療事故やヒヤリハット事例を想像するでしょうが、そればかりではありません。「こんなことは滅多にないけど」「そんな話聞いたことはあるけど」「あったら困るなと思うけど」こんな風に思っているあなたの身に、突然降りかかるからこそ危機なのです。

今回は、「あまりないけど、あり得る」「考えたくないけど、起こってしまう」というような危機を9例取り上げ、それぞれの危機のシチュエーションを『危機事例』で紹介した後、その危機への対処法を『危機のポイント』『危機突破の糸口』『具体的な対応の仕方』『危機に陥らないためにしておくこと』という項目に従って、経験豊かな筆者が概説します。また最後に、一ナースの問題ではすまない危機についても、[特別編]という枠組みで紹介します。

もちろん、対処法は1つではありません。不意の災害同様、危機が起こった場合にあなたがどう対処するかは、普段の心構え次第なのです。

再入院して来た患者さんが、実は結核だった！ ●	16 ページ
診察待ちの患者さんが多すぎて、殺気立っている！ ●	20 ページ
夜勤の最中に身の危険を感じた！ ●	24 ページ
実習中に学生がいなくなった！ ●	27 ページ
忙しいのに、研究をしろと上司に迫られる！ ●	30 ページ
見た目だけがひどいケガをしてしまった！ ●	34 ページ
主治医と専門医の意見が食い違っている！ ●	36 ページ
退院した患者さんが付きまとってくる！ ●	39 ページ
患者さんに関するおしゃべりを家族に聞かれてしまった！ ●	42 ページ
[特別編] 病院からナースが次々やめていく！ ●	46 ページ